
ピカパチ日記

會田 雅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ピカパチ日記

【Nコード】

N1043Z

【作者名】

會田 雅

【あらすじ】

この世界には私達の知られざる出来事や人物が結構いたりする。たとえば、ポケモン。

あいつら実はゲームだけのキャラじゃなくて実際に居る連中を新しく見つける度にゲームを通して紹介してるだけ…とか？

今観測されているのは501匹。

ゲームと違って此処にいるのはポケモンの能力を持った人間。

世界に478人居る能力者は人間に混じって普通に生活をしていた。

・・・というか會田が変身ヒーローもの好きすぎて作った願望の副産物。

ポケモン化して戦う少し身近なヒーローです。

一日目（前書き）

出だしが完璧に一昔前のジャンプのラブコメみてえだ…

一日目

寝ぼけ眼で重い自転車をこぐのが俺の平日の日課。

正直体力的に死にそうだと思ったことは多々あるが、今はもう慣れた。

結構体力が付いたのかもしれない。

えー、かいつまんで説明しますと

俺、登校中。

自転車が俺の体重以上の負荷を俺の足に強制する理由は一つ。

「ピカ、遅い」

後ろに俺のマドンナを乗せてるからさ！

胸のちょうどしたあたりの髪を肩口らへんでツインテールにしてるの小柄な眼鏡っ子！

名前は木崎胡桃（おののけ くるみ）

ちよいと毒舌だけど、その辺はご愛敬…

というよりもその態度が俺に対してだけというのがかなりくるんだぜ！

なんつーかさ、俺だけのクルミって感じがもう最高なんだよ

「ニヤけないでよ、気持ち悪い」

「わ、悪かったな……」

ついほころんでしまっていたようだ。

俺の片思いは周知の事実だが、あえて誰も触れていないらしい。

微妙に腹立つぜ？その気遣い

失恋決定みたいにするなよ！

希望はまだあるっつーの！

校門が見えたら近くの駐輪場に自転車を止め、木崎と一緒にくぐる。

隣を歩く木崎が何とも言えないくらい可愛い。

頭一つ分の身長差が最高だ。

「よっ、鋼太」

「おう、涛二か」

校舎へ歩く途中、唐突に声を掛けてきたのは山内涛二やまうち トウジ

俺のクラスメイトで、ロングセラーを誇るゲーム、「ポケットモン

スター」ヲタク。

他の連中にはポケフリークなんて呼ばれてる。

木崎にかまけすぎて忘れていたが、俺は雷鋼太。いかずちウタ

この真砂学園で一番喧嘩が弱い男!!! (自称)
マサコがくえん

つまり無害なので友達になってくれる女の子募集中だッ!

「なあなあ、お前知ってるか? 今月中旬あたりにポケモンの新しいシリーズ出るんだとよ。たしか…」

「ポケットモンスター ルビー・サファイアだろ?」

「そうそう! 新しいポケモンとか出まくるらしいぜ! マジで楽しみ」

「・・・だつてよ、木ざk」

あれ? いない…

「この年でポケモソフリークとかw」

「ないわーw」

「雷君とか、顔だけ見ればイケメンなのにねー」

「えー、箏羽ちゃんあーゆーのが好みなの？ちよい引く」

「クルミちゃんは近すぎて知らないだけだって！」

一日目（後書き）

雷君とクルミちゃんのビジュアルは授業中に書いた落書きだったりする。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1043z/>

ピカパチ日記

2011年12月3日22時45分発行